

「白石大使の離任レセプションの開催」

6月16日、ビリニュス市内において、白石大使の離任レセプションが開催されました。

離任レセプションには、ランズベルギス元国家元首、オレカス国防大臣、マシウリス・エネルギー大臣、ビルティス文化大臣、ピトレニエネ教育科学大臣、ゲドビラス国会第一副議長、シーサス国会副議長、ユオトカ国会外交委員会委員長、ジングリス国会欧州委員会副委員長、ミクティエネ・リトアニア日本友好議連会長を始めとする政府関係者、国会関係者、各国外交使節団長、日系企業関係者、大学関係者、文化関係者、ビジネス関係者等多岐にわたる分野から約210名の方々に出席いただきました。

白石大使は、リトアニア語と英語での離任挨拶において、リトアニアにおける3年4ヶ月にわたる在任中に受けた友情と支援に謝意を表明するとともに、リトアニアの人々のアイデンティティの一部であるリトアニア語で公の場においてスピーチを行うことを心がけてきたことや、リトアニアの専門家になろうとリトアニアの歴史、政治、社会や伝統を学び取り組んできたことにより、リンケビチュウス外相から「あらゆるところに現れる大使」と称され活動を評価されたことを誇りに思っている旨述べるとともに、ピサギナス原発建設の進展に携わってきたことなど、近年、両国関係が様々な分野で大きく進展してきていることに言及しつつ、今後の一層の発展への期待を表明しました。

また、来賓のオレカス国防大臣から、白石大使の在任中に、政治、経済、教育及び国防等のあらゆる分野において、二国間関係はより緊密になったことや、二国間の促進において、最も熱心に活躍した大使として、白石大使に感謝の言葉が送られました。そして、二国間関係の一層の深化と発展を祈念する旨の乾杯のご挨拶を頂きました。



大使挨拶





オレカス国防大臣による乾杯の挨拶



ランズベルギス元国家元首と



マシウリス・エネルギー大臣と